



レノヴェンスオガサワFCに所属する児童らとサッカーのミニゲームで交流した小笠原満男(盛岡市・盛岡南公園球技場)

## 小笠原(J1鹿島)と夢の時間

### 子どもたちと直接指導

オガサワFC  
盛岡で練習会

サッカー元日本代表MFの直接指導がスタートした。小笠原満男(鹿島アントラーズ、盛岡・大宮中・大船渡高)がシーズン中に盛岡にやって来た。自らの名前を冠した新チーム「レノヴェンスオガサワFC」などの合同練習会が29日、盛岡市の盛岡南公園球技場で行われ、チームの総合アドバイザーを務める小笠原が直接指導。子どもたちと一緒にミニゲームをするなど大喜びだった。

岩手のサッカー界に新しい風が吹いた瞬間だった。午後5時、小笠原が地元盛岡のピッチに立ってリフティングやフリーキックを披露。古里まで駆け付けてくれるトップ選手と、次世代を担う子どもたちが共有する夢のような時間が岩手にはある。集まった小学1～6年生約200人への

直接指導がスタートした。Jリーグ公式戦が日本代表戦などで中断され、チームもオフとなったために実現。年明けにレノヴェンスを視察した際は、けがでプレーできず「次の機会があれば、ぜひやりたい」と語っていた小笠原が早速、約束を果たした形だ。

小笠原は「今日は一緒にサッカーをやれる。プレーを見ても良かったり、質問があれば何でも教えたい。自分も子どもたちを思い出して楽しんで」と和やかな表情。将来のJリーガーを目指す選手たちに「まずは楽しく。そして向上心を持って練習してほしい」とエールを送った。

新しい風を意味するレノヴェンス。地域への恩返しを誓った小笠原を中心にフィール

ドに笑顔が広がった。中村司代表は「子どもたちは『次に会えるときまでに、もっとうまくになりたい』と練習してきた。交流は選手たちにとって大きな励みになる」と目を細めていた。